



2025年9月期 中間決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月15日

上場会社名 株式会社トップス 上場取引所 東
コード番号 243A URL <https://www.akasaka-tops.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）箱崎 英次
問合せ先責任者（役職名）代表取締役副社長 管理本部長（氏名）村本 光彦 TEL 03 (5570) 3448
中間発行者情報提出予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 —
中間決算補足説明資料作成の有無：無
中間決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期中間期の業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	1,999	△0.6	154	△33.0	156	△32.1	109	△43.8
2024年9月期中間期	2,012	—	230	—	229	—	194	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	53.99	51.42
2024年9月期中間期	97.42	—

- （注）1. 当社は、2023年9月期中間期においては、中間財務諸表を作成していないため、2024年9月期中間期の対前年同期増減率を記載しておりません。
2. 2024年9月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株是非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期中間期	2,498	1,861	74.5	908.30
2024年9月期	2,117	1,732	81.8	866.31

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 1,861百万円 2024年9月期 1,732百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	0.00	5.00	5.00
2025年9月期	0.00		
2025年9月期（予想）		—	—

- （注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
配当予想の修正については、本日（2025年5月15日）公表いたしました「配当予想の修正（中間配当）」に関するお知らせをご覧ください。
2. 当社は定款において中間期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 2025年9月期の業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	3,472	0.7	54	△57.0	53	△57.7	33	△71.2	16.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期中間期	2,049,400株	2024年9月期	2,000,000株
② 期末自己株式数	2025年9月期中間期	一株	2024年9月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年9月期中間期	2,028,765株	2024年9月期中間期	2,000,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善する下で各種政策の効果もあり、緩やかな回復がみられました。一方で、アメリカの通商政策など今後の政策動向がわが国の景気を下押しするリスクとなっていることや、中東地域をめぐる情勢並びに為替や金利の変動による影響等、依然として先行きは不透明な状況が継続しております。

食品業界におきましても、インバウンド消費の拡大等により需要は回復基調にあるものの、物価上昇による消費マインドの停滞や不安定な世界情勢を背景とした原材料価格・エネルギー価格の高騰、人手不足等の影響により、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社では以下のような取り組みを行ってまいりました。

(売上の伸長に向けた取り組み)

①新規出店と不採算店の退店

レストランカフェ1店を2025年2月に販売店としてリニューアルオープンいたしました。また不採算店舗1店を退店し、収支改善への取り組みを行いました。一方、新規の出店はありませんでしたが、出店にあたっては慎重に検討して収益力の強化に努めてまいります。

②商品開発並びに監修商品への取り組み

コンビニエンスストア及び量販店等において、デザートやベーカリーを中心とした監修商品が発売され、ご好評をいただきました。

業容の拡大には事業基盤の安定化と当社ブランドの認知度拡大の両立が必要であると認識しており、引き続き他企業とのコラボレーション企画や商品監修に取り組んでまいります。

③適時な販促活動と季節商品の投入

当中間会計期間におきまして、季節限定商品並びに数量限定商品を発売しご好評をいただきました。限定商品を継続的に投入していくことにより、お客様の来店頻度の向上及び新規顧客層の取り込みに努めてまいります。

④ECサイトの強化

ロングセラー商品の焼菓子やチョコレートケーキアイスに加え、新たに限定商品の取り扱いも開始する等、商品ラインナップの拡充を図ってまいりました。

(内部管理体制の強化に向けた取り組み)

食品の安全管理規格である「JFS-B規格」を活用し、徹底した品質管理とお客様の立場に立った商品づくりやサービス提供に取り組んでまいりました。

また、情報資産のセキュリティを管理するための枠組みであるISMS(ISO27001)の認証を本社含む主要事業所で取得し、継続的な運用を行ってまいりました。

以上の結果、当中間会計期間における売上高は1,999百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は154百万円(前年同期比33.0%減)、経常利益は156百万円(前年同期比32.1%減)、中間純利益は109百万円(前年同期比43.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末における流動資産は、前事業年度末より236百万円減少し、1,065百万円となりました。これは主に、売掛金が102百万円、商品及び製品が10百万円増加し、現金及び預金が332百万円、仕掛品が13百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、前事業年度末より617百万円増加し、1,432百万円となりました。これは主に、土地が111百万円、建設仮勘定が516百万円増加し、繰延税金資産が12百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、資産合計は、前事業年度末より380百万円増加し、2,498百万円となりました。

(負債)

当中間会計期間末における流動負債は、前事業年度末より252百万円増加し、539百万円となりました。これは主に買掛金が19百万円、未払金が184百万円、未払費用が26百万円、未払法人税等が25百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は前事業年度末とほぼ同額の97百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末より251百万円増加し、636百万円となりました。

(純資産)

当中間会計期間末の純資産は、前事業年度末より128百万円増加し、1,861百万円となりました。これは主に中間純利益109百万円を計上したことに加え、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ14百万円増加し、配当金の支払いにより10百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前中間会計期間に比べて360百万円減少し、628百万円になりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、294百万円(前年同期は154百万円の獲得)となりました。これは主に、税引前中間純利益153百万円、減価償却費11百万円、売上債権の増加額102百万円、仕入債務の増加額19百万円、未払金の増加額184百万円、未払費用の増加額26百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、644百万円(前年同期は0百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出634百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、17百万円(前年同期は1百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額10百万円、新株予約権の行使による株式の発行による収入29百万円によるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2025年9月期(2024年10月1日～2025年9月30日)の通期業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	960,782	628,131
売掛金	230,318	333,197
商品及び製品	30,622	41,407
仕掛品	21,935	8,238
原材料及び貯蔵品	33,621	37,992
前払費用	20,638	13,869
前渡金	351	285
未収入金	2,372	1,239
その他	1,953	1,412
流動資産合計	1,302,596	1,065,774
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	58,819	59,044
土地	633,581	744,960
建設仮勘定	330	516,455
その他(純額)	70,064	64,271
有形固定資産合計	762,795	1,384,732
無形固定資産	1,466	8,890
投資その他の資産	50,863	38,947
固定資産合計	815,125	1,432,570
資産合計	2,117,722	2,498,344
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,717	119,136
未払金	63,283	247,383
未払費用	73,861	100,808
預り金	17,112	17,444
資産除去債務	1,496	—
未払法人税等	6,443	31,730
未払消費税等	17,990	18,782
未払事業所税	2,647	—
その他	4,143	4,090
流動負債合計	286,697	539,375
固定負債		
退職給付引当金	26,862	27,632
資産除去債務	48,759	48,759
預り保証金	6,000	6,000
その他	16,782	15,103
固定負債合計	98,404	97,495
負債合計	385,102	636,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	24,538
資本剰余金	128,346	142,885
利益剰余金	1,593,122	1,692,659
株主資本合計	1,731,469	1,860,084
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,149	1,389
評価・換算差額等合計	1,149	1,389
純資産合計	1,732,619	1,861,473
負債純資産合計	2,117,722	2,498,344

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	2,012,736	1,999,715
売上原価	845,867	866,473
売上総利益	1,166,868	1,133,242
販売費及び一般管理費	936,409	978,779
営業利益	230,459	154,462
営業外収益		
受取利息	0	18
受取配当金	22	27
助成金収入	543	4,254
保険解約金	—	792
その他	256	208
営業外収益合計	821	5,300
営業外費用		
商品廃棄損	977	822
固定資産廃棄損	307	—
店舗閉鎖損失	—	2,622
その他	23	82
営業外費用合計	1,308	3,528
経常利益	229,972	156,234
特別損失		
減損損失	—	2,313
特別損失合計	—	2,313
税引前中間純利益	229,972	153,920
法人税、住民税及び事業税	21,013	31,736
法人税等調整額	14,115	12,646
法人税等合計	35,129	44,383
中間純利益	194,843	109,537

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	229,972	153,920
減価償却費	10,509	11,498
敷金償却額	1,155	738
長期前払費用償却	325	785
減損損失	—	2,313
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,086	769
受取利息及び受取配当金	△22	△45
固定資産廃棄損	307	—
売上債権の増減額(△は増加)	△151,692	△102,878
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,188	△1,459
未収入金の増減額(△は増加)	4,436	1,133
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,625	5,433
仕入債務の増減額(△は減少)	54,842	19,418
未払金の増減額(△は減少)	661	184,045
未払費用の増減額(△は減少)	14,754	26,946
預り金の増減額(△は減少)	180	332
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,006	792
その他の負債の増減額(△は減少)	△2,515	△2,646
小計	161,023	301,098
利息及び配当金の受取額	22	42
法人税等の支払額	△6,253	△6,450
営業活動によるキャッシュ・フロー	154,791	294,690
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,076	△634,809
資産除去債務の履行による支出	△204	△1,496
無形固定資産の取得による支出	—	△8,364
敷金及び保証金の差入による支出	—	△3,000
敷金及び保証金の回収による収入	897	2,931
投資活動によるキャッシュ・フロー	△382	△644,738
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,679	△1,679
配当金の支払額	—	△10,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	29,077
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,679	17,397
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	152,729	△332,650
現金及び現金同等物の期首残高	835,728	960,782
現金及び現金同等物の中間期末残高	988,458	628,131

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、洋生菓子の製造販売並びにこれら附帯業務の単一事業であります。したがって、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。